Ver1.1.0.0

映像／音声エラー検出装置

ＶＡＤ－３１０／３１１

V/A ERROR DETECTION UNIT

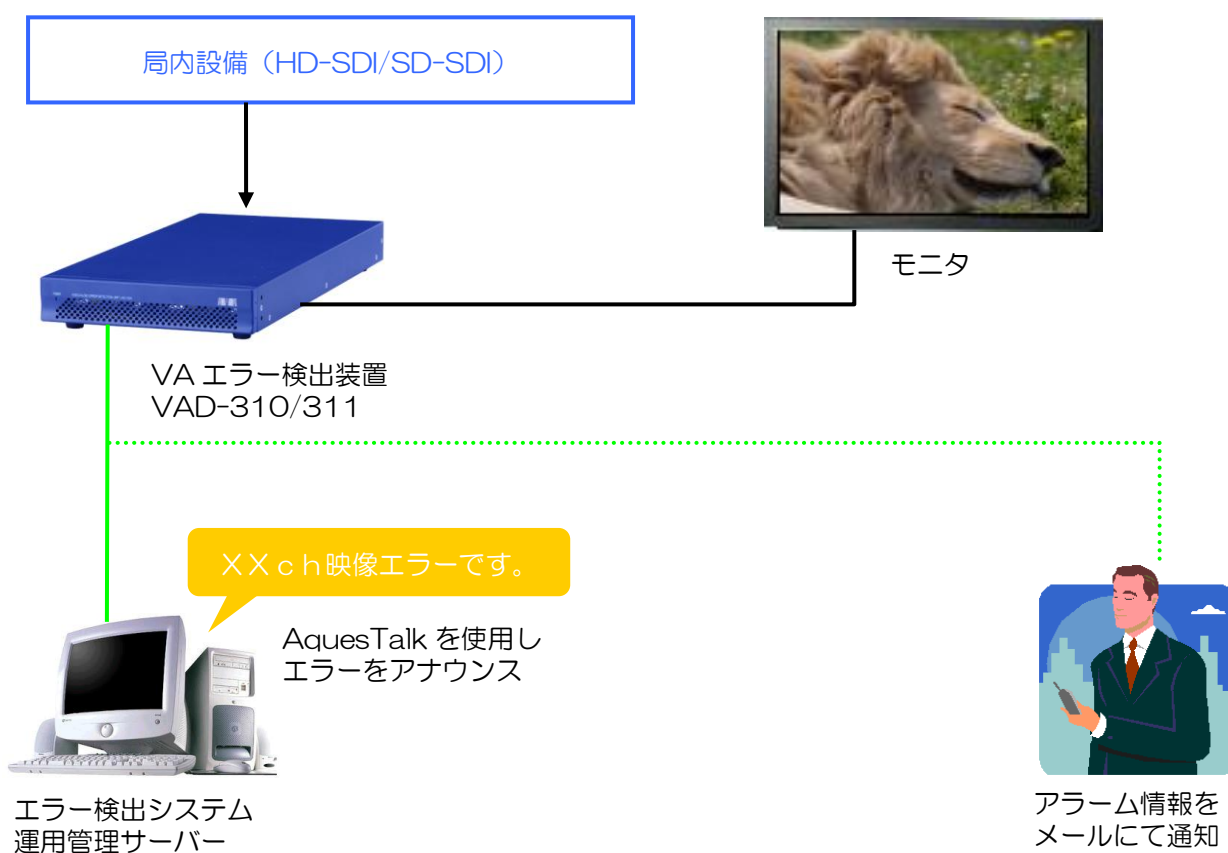
コントロールソフトウェア取扱説明書

Ｖｅｒ．１．１．０．０

目　次

1．概要

　本書は「映像／音声エラー検出装置　VAD-310/311(以下、VAD-310/311)」を監視するソフトウェア（以下、管理ソフト）の取り扱いについて説明するものです。
　管理ソフトは、VAD-310/311 より通知される各種エラー情報のロギング、及び、VAD-310/311 に対する調整・設定を行う機能を持っています。

　以下にシステム概要を示します。

2．画面説明

2．1　メイン画面

管理ソフトを起動した際に表示される画面です。

この画面ではエラー状況が表示されます。

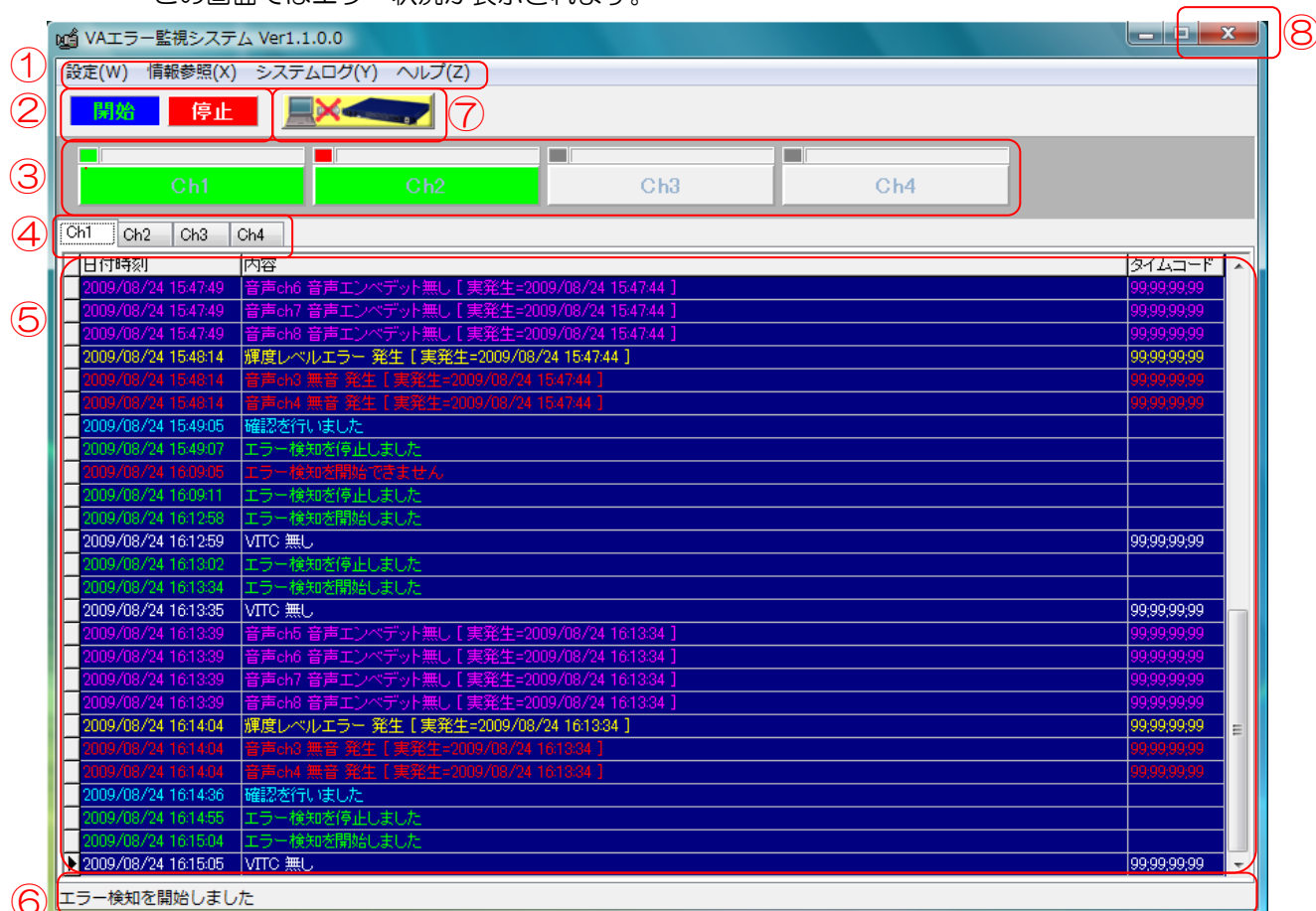



図2．1　メイン画面

① メニューバーより処理を選択します。

② VAD-310/311 のエラー検出「開始」「停止」を行います。

開始 ボタンをクリックすると、エラー検出を開始します。

停止 ボタンをクリックすると、エラー検出を停止します。

ボタン状態がそれぞれ、

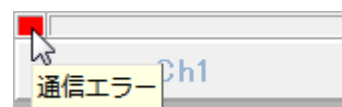
開始（点滅）、停止 となっているときはエラー検出中、

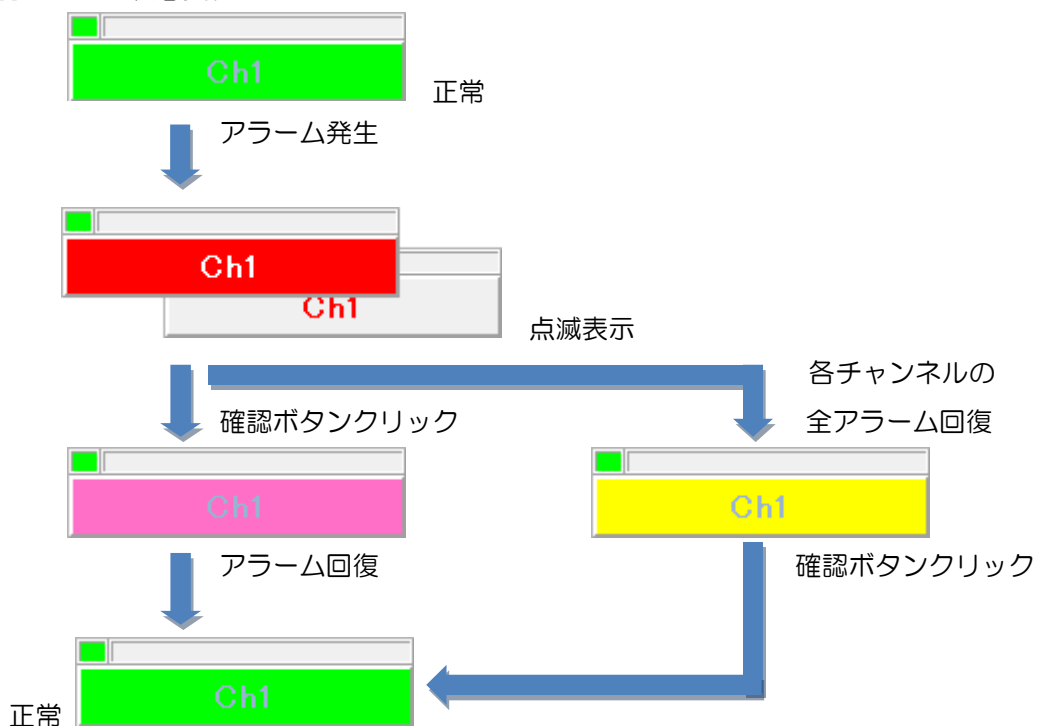
開始、停止 となっているときは停止中となります。

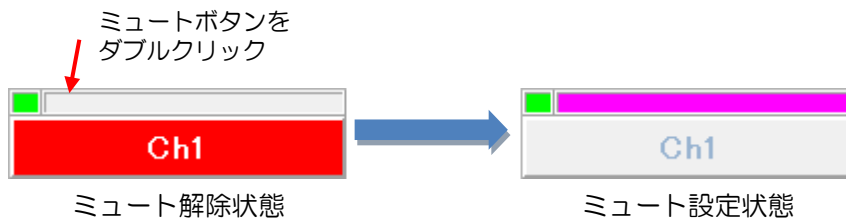
③ VAD-310/311 との通信状況の表示とエラー発生状況の表示・確認、及びミュートの設定を行います。

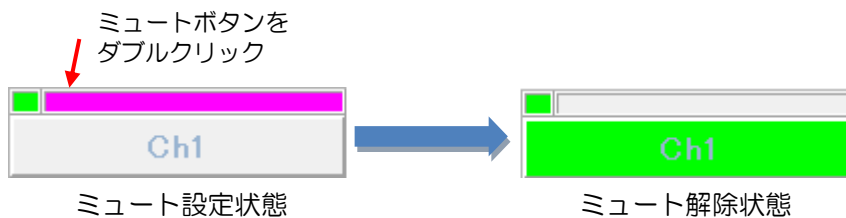
（1）VAD-310/311 との通信状況

正しく接続されている場合は左上の表示エリアが緑色となります。
表示エリアにマウスカーソルを合わせると「通信中」と表示されます。

接続が切れると左上の表示エリアが赤色となります。
表示エリアにマウスカーソルを合わせると「通信エラー」と表示されます。

「2．2　システム設定」にてＩＰアドレスを設定していない場合は表示エリアがグレーとなります。
表示エリアにマウスカーソルを合わせると「未確定状態」と表示されます。

（2）確認ボタンの状態変化

（3）ミュートの設定

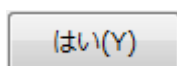
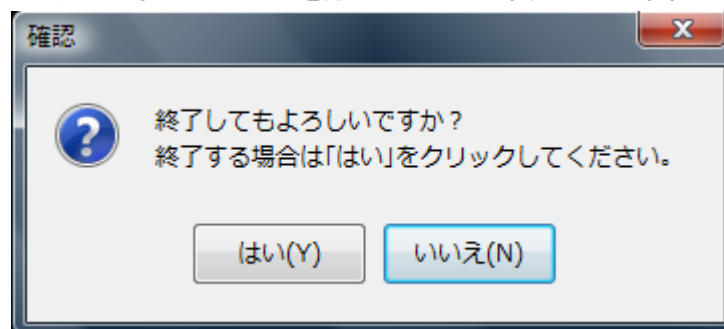
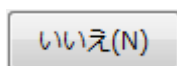
ミュートの設定を行うと、そのチャンネルのアラーム監視を停止します。
アラームが発生している状態でミュートの設定を行うと、そのチャンネルで発生中のアラームはクリアされます。
この時、ミュート設定のログが記載されます。

（4）ミュートの解除

エラー検出中の状態でミュートの解除を行うと、そのチャンネルのアラーム監視を開始します。
この時、ミュート解除のログが記載されます。

④　⑤にログ表示するチャンネルを選択します。

⑤　エラー発生状況や VAD-310/311 との接続状態等をログ表示します。
　ログ表示に使用する文言は、一部「2．８　アラーム表示設定」にて設定する事ができます。

⑥　ステータスバーに管理ソフトの操作状況を表示します。

⑦　VAD-310/311 との接続が切れると表示されます。
ボタン表示とともに「映像音声監視ユニットと切断しました」という音声メッセージで通知します。
ボタンをクリックすることで音声は停止します。
ボタン表示は通信エラーが回復すると消えます。

⑧　をクリックすると以下の確認メッセージが表示されます。

はい(Y)　をクリックすると管理ソフトを終了します。

いいえ(N)　をクリックすると終了処理を中止し、本画面に戻ります。

２．２　システム設定

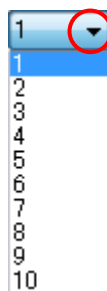
本画面では VAD-310/311 のチャンネル数やＩＰアドレス等を設定します。

図２．２　システム設定

①　本画面の表示

メニューバーの「設定」→「システム設定」をクリックします。

② 設定値の編集

（1）チャンネル数設定

をクリックし、表示されるリストより選択します。

（2）ヘルスチェック間隔設定

秒数欄をクリックし、編集モードにして入力します。

（3）VAD へのしきい値自動設定（接続時）

管理ソフトで設定したしきい値を、ＶＡＤとの接続時に自動で VAD-310/311 に設定するかどうかを選択します。

☑しきい値の自動設定をONにする にチェックをつけると、設定したしきい値を起動時に自動設定します。

☐しきい値の自動設定をONにする のチェックを外すと起動時の自動設定を解除します。

（4）VAD の IP アドレス、コミュニティ設定

各欄をダブルクリックし、編集モードにして入力します。

※「設定」ボタンをクリックせずに VAD 台数設定を変更すると反映されません。

③ 設定内容の保存とキャンセル

設定が終了しましたら 設定 ボタンをクリックして下さい。

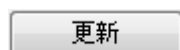
設定を中止する場合は キャンセル ボタンをクリックして下さい。

２．３　しきい値の設定

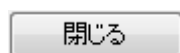
本画面では、VAD-310/311 に設定するしきい値を編集・設定します。
※しきい値を変更する場合は必ず「検知停止」を行ってから変更してください。

①　本画面の起動
メニューバーの「設定」→「VAD 設定」→「しきい値設定」をクリックします。

②　設定画面の切り替え
「映像レベル」「音声レベル」「音声エラー検知」の各タブをクリックします。

③　設定値の保存

[更新] ボタンをクリックします。

※ 設定値に変更がない場合、ボタンは無効となります。

④　本画面の終了

[閉じる] ボタンをクリックします。

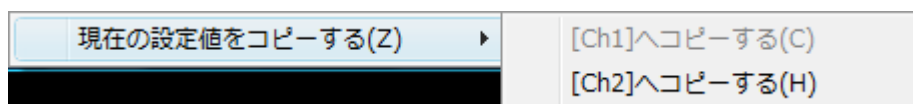
「更新」ボタンをクリックせずに「閉じる」ボタンをクリックした場合、変更した設定値は無効となります。

＊＊ トラックバーの操作方法 ＊＊

をドラッグ（マウスの左ボタンを押したまま)、または、をクリックしキーボードの「←」「→」キーで左右に動かします。設定値はトラックバーの右端に表示されます。

＊＊　設定チャンネルの変更　＊＊

矢印ボタンをクリックすることで設定するチャンネルを変更できます。
※VAD 台数が 1 台のときは表示されません。

＊＊　　設定値のコピー　　＊＊

現在の設定値をコピーする(Z) ▸ | [Ch1]へコピーする(C)
[Ch2]へコピーする(H)

ウィンドウ内を右クリックすると現在の設定値を他のチャンネルにコピーすることができます。
※VAD 台数が 1 台のときはメニューが表示されません。
※設定値を変更した際は「更新」ボタンをクリックしてからコピーしてください。

２．３．１　映像レベル

映像レベルエラーを判断するしきい値を設定します。

図２．３－１　しきい値設定画面（映像レベル）

① 設定値の編集

（1）輝度レベルエラー

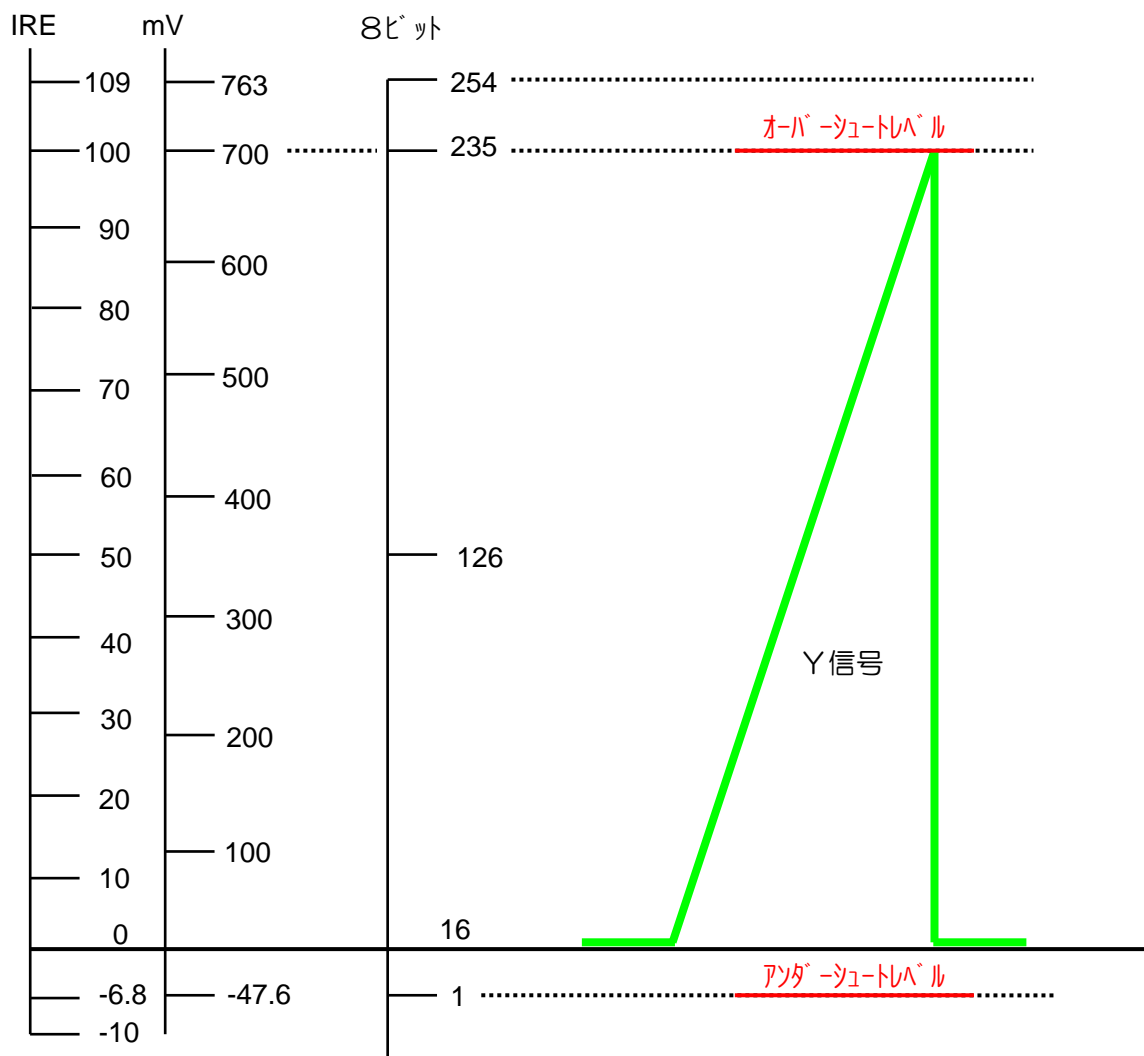
a. 最大値

輝度レベルエラーを検知する最大値を<0~255>（8 ビット）の範囲で設定します。
この値を超えると輝度レベルエラーとなります。
※デフォルトは、**オーバーシュートレベルの 235** になっております。

b. 最小値

輝度レベルエラーを検知する最小値を<0~255>（%）の範囲で設定します。
この値を下回ると輝度レベルエラーとなります。
※デフォルトは、**0IRE** の **16** になっております。

※最小値>最大値となる設定はできません。

●輝度レベルの IRE と V、8 ビットの相対図

（2）色差レベルエラー

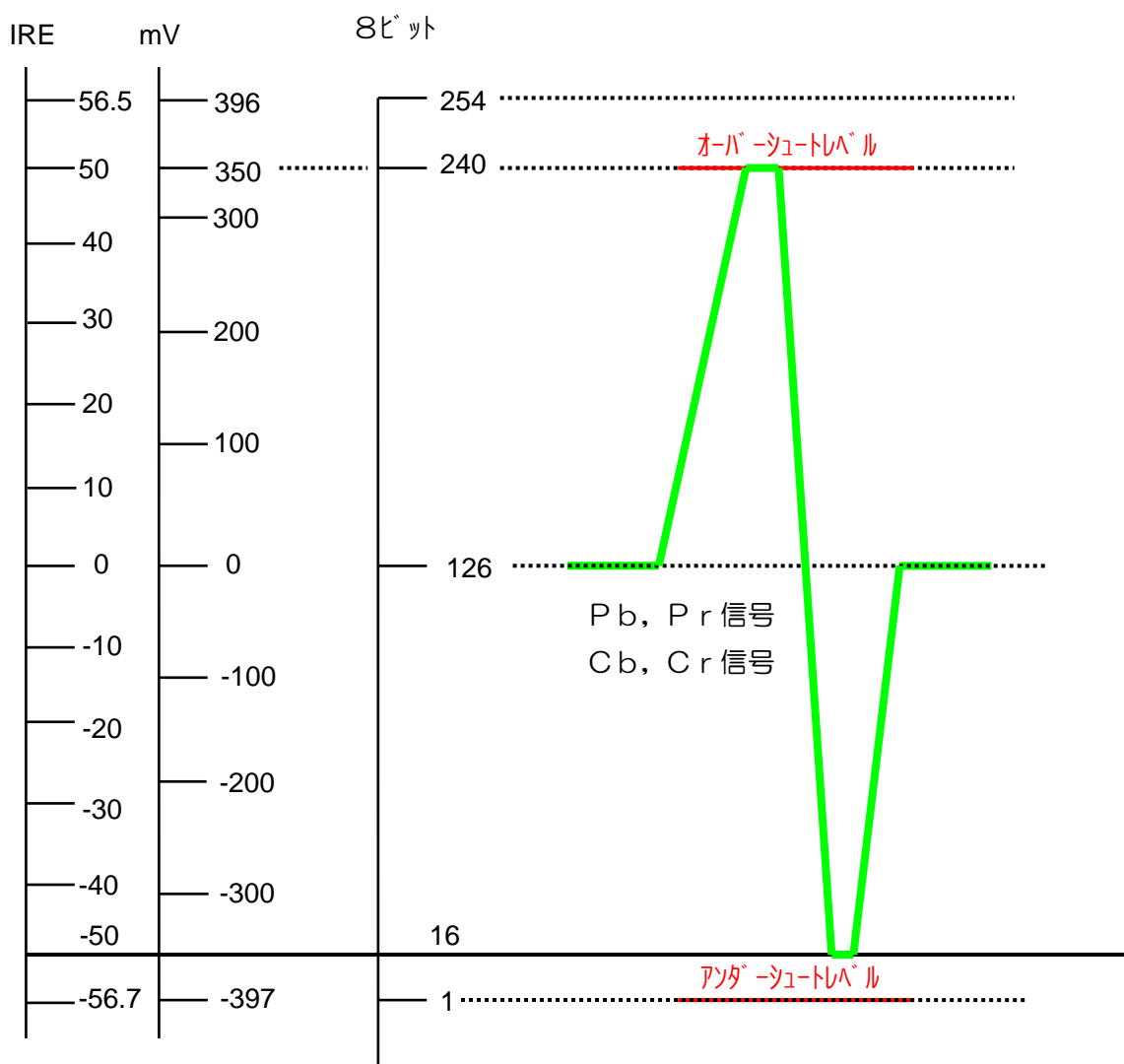
a.　最大値

色差レベルエラーを検知する最大値を<0～255>（%）の範囲で設定します。
この値を超えると色差レベルエラーとなります。
※デフォルトは、**オーバーシュートレベル**の **240** になっております。

b.　最小値

色差レベルエラーを検知する最小値を<0～255>（%）の範囲で設定します。
この値を下回ると色差レベルエラーとなります。
※デフォルトは、**-50IRE** の **16** になっております。

※最小値>最大値となる設定はできません。

●色差レベルの IRE と V、８ビットの相対図

２．３．２　音声レベル

音声レベルエラーを判断するしきい値を設定します。

図２．３－２　しきい値設定画面（音声レベル）

①　設定値の編集

（1）最小値

音声レベルエラーを検知する最小値を<-50～0>（ｄＢ）の範囲で設定します。

この値を下回ると音声レベルエラーとなります。

（2）最大値

音声レベルエラーを検知する最大値を<-50～0>（ｄＢ）の範囲で設定します。

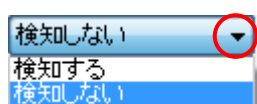
この値を超えると音声レベルエラーとなります。

※最小値＞最大値となる設定はできません。

２．３．３　音声エラー検知

音声エラーを検知するかしないかを各チャンネル毎に設定します。

図２．３－３　しきい値設定画面（音声エラー検知）

①　設定値の編集

をクリックし、検知するかしないかを選択します。

２．４　マスク設定

VAD-310/311 から発生したエラーに対するマスク値を設定します。

マスクとはある特定のエラーが実発生した際、設定したマスク値の秒数分だけ発報を遅らせ、マスク時間が経過した後もアラームが持続していたら発報するという意味です。

※マスク値を変更する場合は必ず「検知停止」を行ってから変更してください。

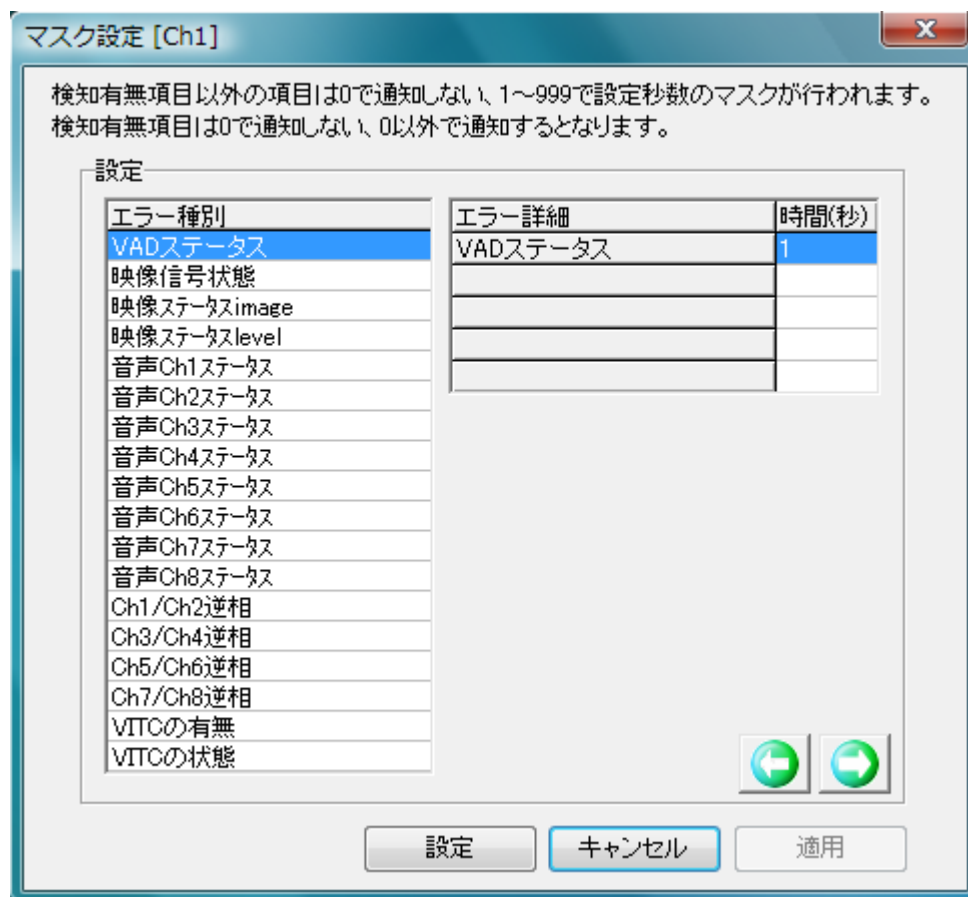



図２．４　マスク設定画面

① 本画面の表示

メニューバーの「設定」→「VAD 設定」→「マスク設定」をクリックします。

② マスク値の編集

マスク値を設定する「エラー種別」（左側）を選択します。

現在の設定値が「エラー詳細」（右側）に表示されます。

「エラー詳細」の「時間(秒)」欄をクリックし、マスクする時間（秒）を入力します。

③　エラー詳細の説明

（1）VAD ステータス

ａ．VAD ステータス

本体との通信をチェックします。※数値は変更しないでください。

（設定値＜０＞で通知を行わない、＜１＞で通知を行う、となります。）

（2）映像信号状態

ａ．検知有無

入力されている信号の種類と同期信号を検知します。※数値は変更しないでください。

（設定値＜０＞で通知を行わない、＜１＞で通知を行う、となります。）

（3）映像ステータス image

ａ．ブラック

ブラックアウトの状態が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

ｂ．フリーズ

フリーズの状態が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

（4）映像ステータス level

ａ．輝度レベルエラー

輝度レベルが最大しきい値を超える、あるいは最小しきい値を下回る状態が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

ｂ．色差レベルエラー

色差レベルが最大しきい値を超える、あるいは最小しきい値を下回る状態が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

ｃ．輝度＆色差レベルエラー

輝度レベルが最大しきい値を超える、あるいは最小しきい値を下回る状態、且つ
色差レベルが最大しきい値を超える、あるいは最小しきい値を下回る状態が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

（5）音声ステータス

ａ．無音

-40dB 以下の状態が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

ｂ．レベル低

音声レベルが最小しきい値を下回る状態が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

ｃ．レベル高

音声レベルが最大しきい値を超える状態が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

ｄ．音声エンベデット無し

音声のエンベデット情報が無い状態が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

ｅ．1kHz（音声 1Ch、2Ch のみ）

1kHz 音声信号が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

（6）逆相

ａ．Ch1／Ch2 逆相

ｂ．Ch3／Ch4 逆相

ｃ．Ch5／Ch6 逆相

ｄ．Ch7／Ch8 逆相

各チャンネル間で逆相の状態が設定した秒数以上続くことでエラーとします。

（7）VITC の有無

ａ．検知有無

VITC の有無を検知します。※数値は変更しないでください。

（設定値＜０＞で通知を行わない、＜１＞で通知を行う、となります。）

（8）VITC の状態

ａ．検知有無

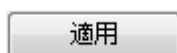
VITC の状態を検知します。※数値は変更しないでください。

（設定値＜０＞で通知を行わない、＜１＞で通知を行う、となります。）

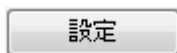
④　設定チャンネルの変更

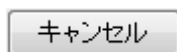
矢印ボタンをクリックすることで設定するチャンネルを変更できます。
※VAD 台数が 1 台のときは表示されません。

⑤　設定値のコピー
ウィンドウ内を右クリックすると現在の設定値を他のチャンネルにコピーすることができます。
※VAD 台数が 1 台のときはメニューが表示されません。
※設定値を変更した際は「更新」ボタンをクリックしてからコピーしてください。

⑥　設定値の保存

適用　ボタンをクリックします。

※ 設定値に変更がない場合、ボタンは無効となります。

⑦　設定値の保存と本画面の終了

設定　ボタンをクリックします。

⑧　本画面の終了

キャンセル　ボタンをクリックします。

「適用」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合、
変更した設定値は無効となります。

２．５　時刻合わせ設定

本画面では、外部からの時刻取り込み手段と定期的な時刻合わせ方法を設定します。

図２．５　時刻合わせ設定画面

①　本画面の起動

メニューバーの「設定」→「VAD 設定」→「時刻合わせ」をクリックします。

②　時刻合わせ設定の編集

（1）時刻の取得方法

a.　ＮＴＰサーバを使用して時刻合わせを行う

外部ＮＴＰサーバーに対して時刻を要求し、応答の時刻をＰＣ及びＶＡＤ-310/311 に設定します。

NTPサーバを使用して時刻合わせを行う にチェックを付けます。

ＮＴＰサーバーのＩＰアドレスを設定します。

b. ＨＴＴＰサーバを使用して時刻合わせを行う

外部のＨＴＴＰサーバーに対しＨＴＴＰリクエストを送信し、そのヘッダ情報に含まれる時刻をＰＣ及びＶＡＤ-310/311 に設定します。

HTTPを使用して時刻合わせを行う（webサーバが必要です） にチェックを付けます。

WEB サーバーのＩＰアドレスとポート番号を設定します。

c. 時刻合わせを行わない

時刻合わせは行わない にチェックを付けます。

外部の時刻合わせサーバーと接続できない場合に選択してください。

（2）時刻合わせの契機

指定された時刻に時刻要求を行い、ＶＡＤ-310/311 に設定します。

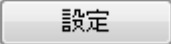
a. １日２回

1日に2回 にチェックを付け、時刻合わせを行う時間を設定します。

b. １日１回

毎日 にチェックを付け、時刻合わせを行う時間を設定します。

c. 経過時間

経過時間 にチェックを付け、時刻合わせを行う経過時間を設定します。

③ 手動時刻合わせ機能

設定されている時刻の取得方法を使用し、手動での時刻合わせを行います。

今すぐ時刻合わせを行う をクリックしてください。

時刻の取得に成功した場合、「前回時刻合わせ時刻」欄に時刻合わせを行った時刻が表示されます。

④ 設定内容の保存とキャンセル

設定が終了しましたら 設定 ボタンをクリックして下さい。

設定を中止する場合は キャンセル ボタンをクリックして下さい。

2．6　音声設定

本画面では、エラー発生時に音声メッセージを読み上げるかどうかを設定します。

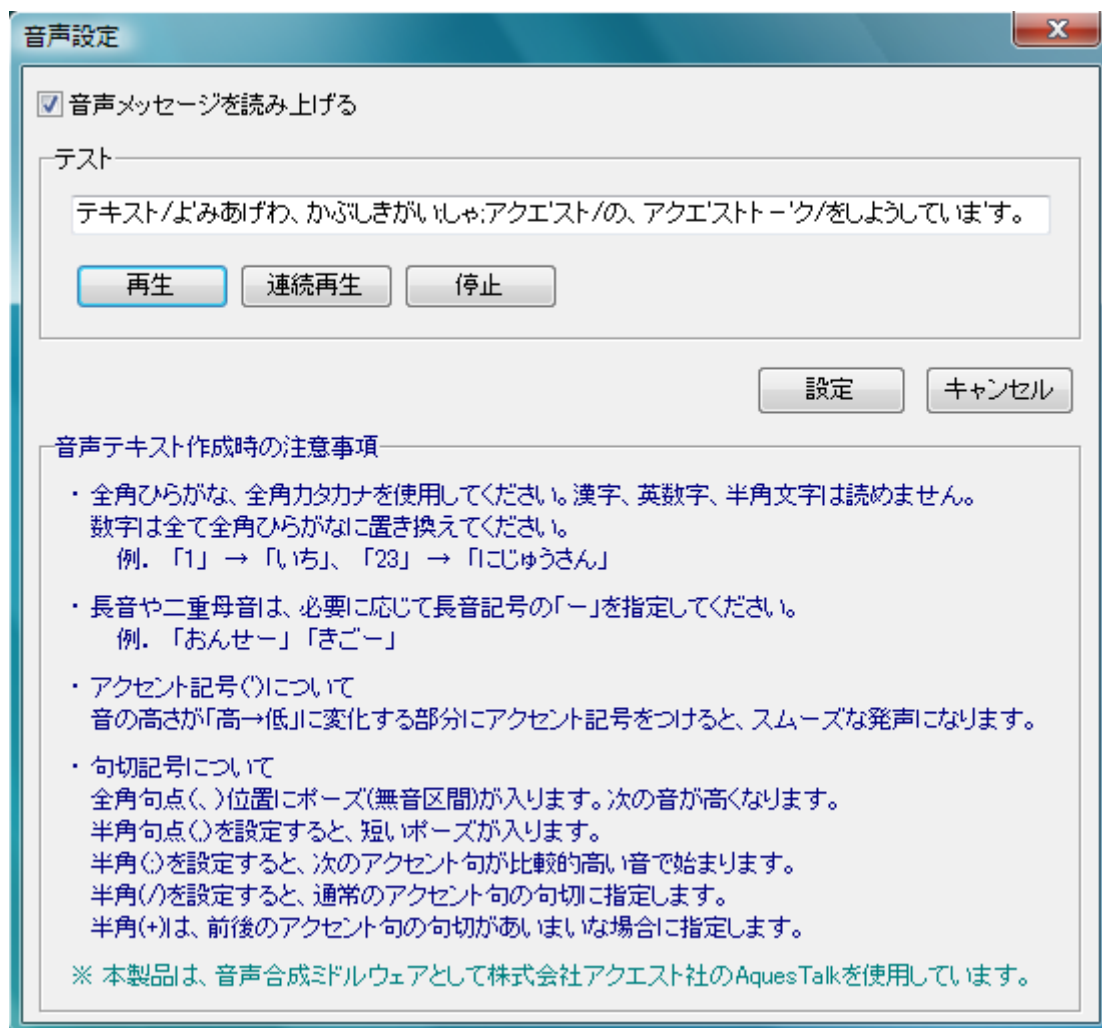



図2．6－1　音声設定画面

①　本画面の起動

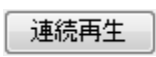
メニューバーの「設定」→「アラーム通知設定」→「音声設定」をクリックします。

② 音声設定の編集

（1）音声メッセージ読み上げ設定

☑音声メッセージを読み上げる にチェックをつけると、エラー発生時に「２．７　チャンネル名設定」と「２．９　音声出力設定」で設定した音声メッセージを組み合わせ、どのチャンネルでどのようなエラーが発生したかを読み上げます。

☐音声メッセージを読み上げる のチェックを外すとエラー発生時に音声メッセージを読み上げません。

※エラー発生時の音声メッセージは確認ボタンをクリックすると停止します。

（2）テスト読み上げ

テキストボックス内の文章を読み上げます。

ここで音声メッセージが再生可能な環境にあるかを確認します。

※（1）にて ☐音声メッセージを読み上げる のチェックを外すとこの機能は無効となります。

［再生］ボタンをクリックするとテキストボックス内の文章を１回読み上げます。

［連続再生］ボタンをクリックするとテキストボックス内の文章を連続再生します。

［停止］ボタンをクリックすると読み上げ中のメッセージを停止します。

③ 音声テキスト作成時の注意事項

音声メッセージを設定する際の注意事項です。

こちらを参考にメッセージを作成します。

④ 設定値の保存

［設定］ボタンをクリックします。

⑤ 本画面の終了

［キャンセル］ボタンをクリックします。

変更した設定値は無効になります。

2．7　チャンネル名設定

本画面では、チャンネル名称と音声メッセージを設定します。

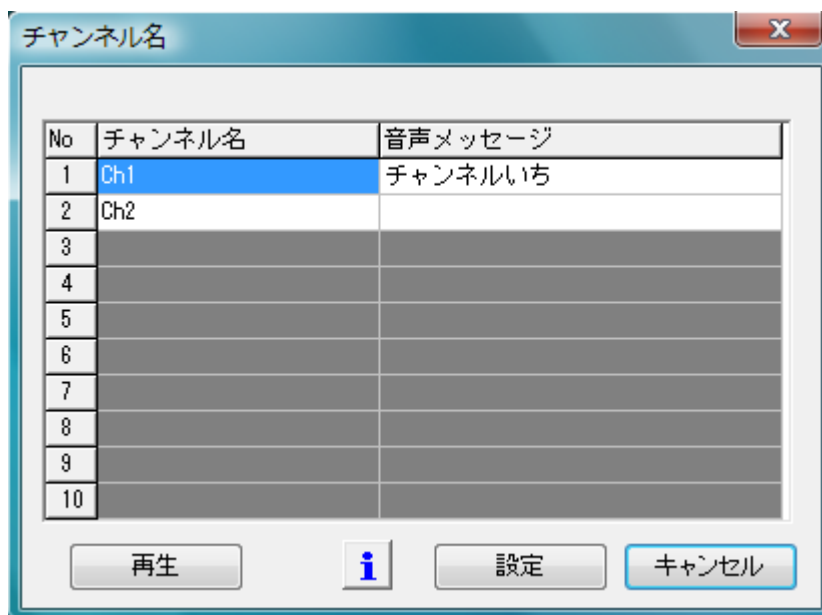



図２．７－１　チャンネル名設定画面

①　本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム通知設定」→「チャンネル名称設定」をクリックします。もしくは確認ボタンを右クリックすると「チャンネル名変更」メニューがポップアップするので、クリックします。

②　設定値の編集

（1）チャンネル名の編集

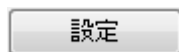
チャンネル名欄をダブルクリックして編集モードにして入力します。

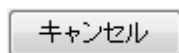
（2）音声メッセージの編集

エラー発生時に読み上げる音声メッセージを設定します。

i をクリックすると別ウィンドウに「音声テキスト作成時の注意事項」が開きますのでこちらを参考に音声メッセージを入力します。

再生 ボタンをクリックすると、入力した音声メッセージを読み上げます。

③　設定値の保存

設定ボタンをクリックします。

④　本画面の終了

キャンセルボタンをクリックします。

変更した設定値は無効になります。

2．８　アラーム表示設定

本画面ではエラー発生時にログに表示する文言を設定します。

ログに表示される文言は一部、本設定外の文言が固定で付加されることがあります。

図２．８－１　アラーム表示設定画面

①　本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム通知設定」→「アラーム表示設定」をクリックします。

②　表示ログの編集

（1）ログ内容の編集

左側選択領域のエラー項目をクリックにて選択し、右側編集領域に表示します。

右側編集領域の表示文字列欄をダブルクリックし、文字列を編集します。

（2）表示色の設定

変更したい文字列の表示文字列欄を選択してから右クリックすると「文字色変更」メニューがポップアップするのでクリックします。

2．8－2　ログ表示文字色設定

設定したい色をクリックすると、選択色欄に表示されます。

設定 ボタンをクリックすると、表示文字列欄が設定色で表示されます。

キャンセル ボタンをクリックするとログ表示文字色設定画面を閉じます。

③表示ログの保存

左側選択領域のエラー項目１行毎に 更新 ボタンをクリックします。

更新 ボタンをクリックせずに左側選択領域をクリックすると変更は保存されません。

変更をキャンセルする場合は、 やりなおし ボタンをクリックしてください。

④　本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

２．９　音声出力設定

本画面では、エラー発生時に再生する音声メッセージを設定します。
音声メッセージは各種エラー別に設定する事が可能です。

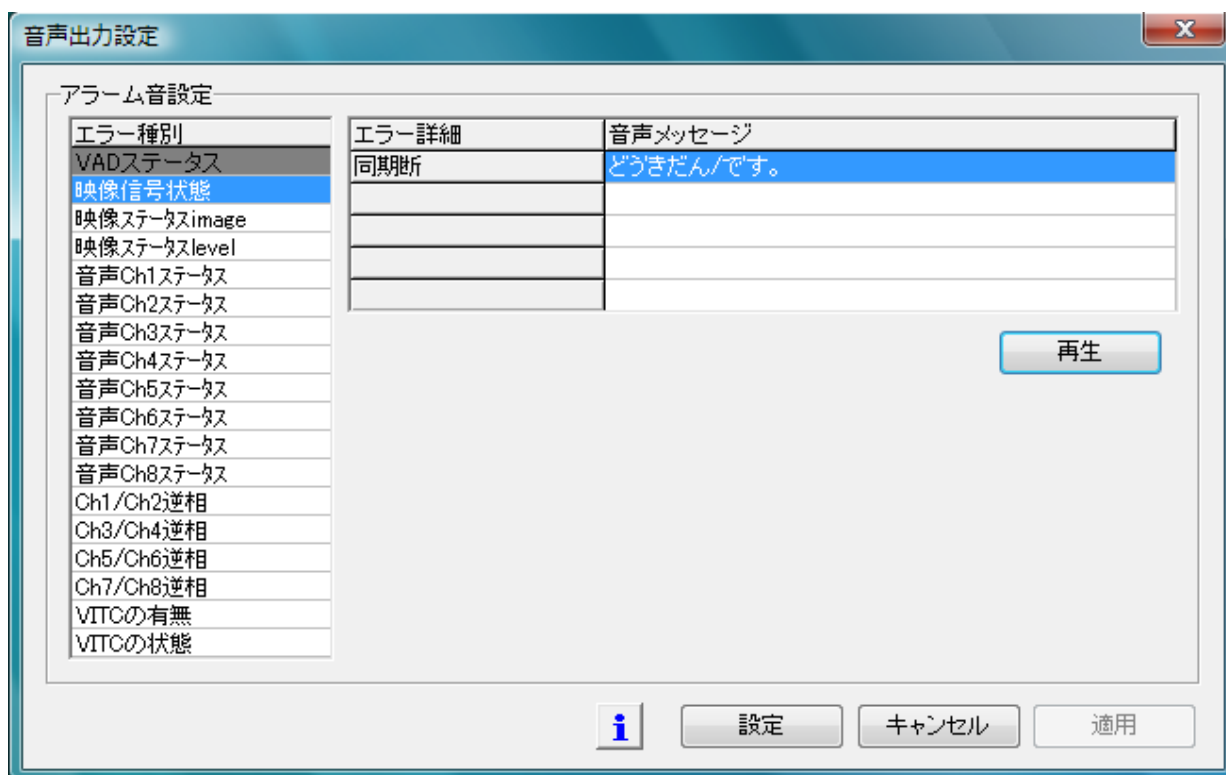



図２．９−１　音声出力設定画面

①　本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム通知設定」→「音声出力設定」をクリックします。

②　音声出力設定の編集

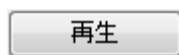
（1）アラーム音設定

エラー発生時に読み上げる音声メッセージを設定します。

音声出力を設定する「エラー種別」（左側）を選択します。

音声メッセージ欄をダブルクリックして編集モードにし、入力します。

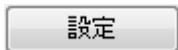
i をクリックすると別ウィンドウに「音声テキスト作成時の注意事項」が開きますので

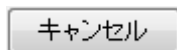
こちらを参考に音声メッセージを入力します。

再生 ボタンをクリックすると、入力した音声メッセージを読み上げます。

③　設定値の保存

［適用］ボタンをクリックします。

※ 設定値に変更がない場合、ボタンは無効となります。

④　設定値の保存と本画面の終了

［設定］ボタンをクリックします。

⑤　本画面の終了

［キャンセル］ボタンをクリックします。

「適用」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合、
変更した設定値は無効となります。

２．１０　メール設定

本画面ではエラー検知状況をメールで通知するための情報を設定します。
運用コンピュータがインターネットに接続されている場合、エラー発生をメールで通知することができます。

① 本画面の起動
メニューバーの「設定」→「アラーム通知設定」→「メール設定」をクリックします。

② 設定画面の切り替え
「メールサーバ設定」「メール通知設定」「メール通知メンバー設定」の各タブをクリックします。

③ 設定内容の保存とキャンセル

設定が終了しましたら [設定] ボタンをクリックして下さい。

設定を中止する場合は [キャンセル] ボタンをクリックして下さい。

２．１０．１　メールサーバー設定

メール通知ためのサーバー情報を設定します。

図２．１０－１　メール設定画面（メールサーバー設定）

①　メールサーバー設定の編集

（1）送信者名

（2）送信メールアドレス（FROM）

（3）送信メールサーバー（SMTP）

（4）アカウント名（SMTP）

（5）件名

（6）受信メールサーバー（POP）

（7）受信アカウント（POP）

（8）受信パスワード（POP）

それぞれ必要な情報を入力します。

（9）Test 送信

メールサーバー設定及び「２．１０．３　メール通知メンバー設定」を設定してからボタンをクリックすると、設定したアドレスにテストメールが送信されます。

メールが届かない場合はもう一度設定内容をご確認ください。

（10）POP before SMTP に対応する

（11）Outbound Port 25 Blocking に対応する

運用状況や、サーバーのセキュリティ上必要な場合は、チェックをつけてください。

２．１０．２　メール通知設定

メール通知したいエラー情報やアラーム情報を選択し、設定します。

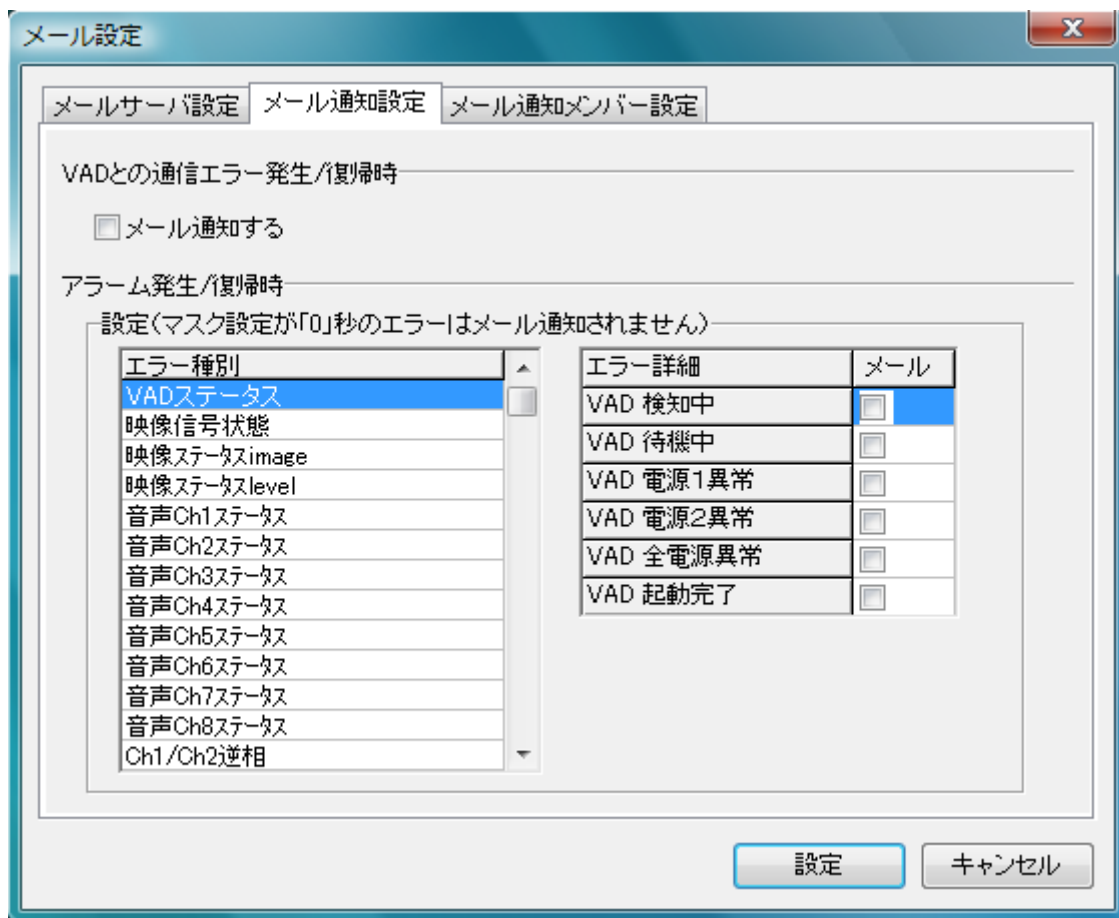



図２．１０－２　メール設定画面（メール通知設定）

① メール通知設定の編集

（1）VAD との通信エラー発生/復帰時

☑メール通知する にチェックをつけると通信エラーが発生、あるいは復帰した時に通知します。

☐メール通知する のチェックを外すと通信エラーが発生、復帰しても通知されません。

（2）アラーム発生/復帰時

メール通知を設定する「エラー種別」（左側）を選択します。

現在の設定値が「エラー詳細」（右側）に表示されます。

メール通知を行いたい項目の ☑ にチェックをつけます。

※チェックをつけても、マスク値が０秒と設定されているエラーはメールされません。

２．１０．３　メール通知メンバー設定

アラームをメール通知するメンバーを登録します。

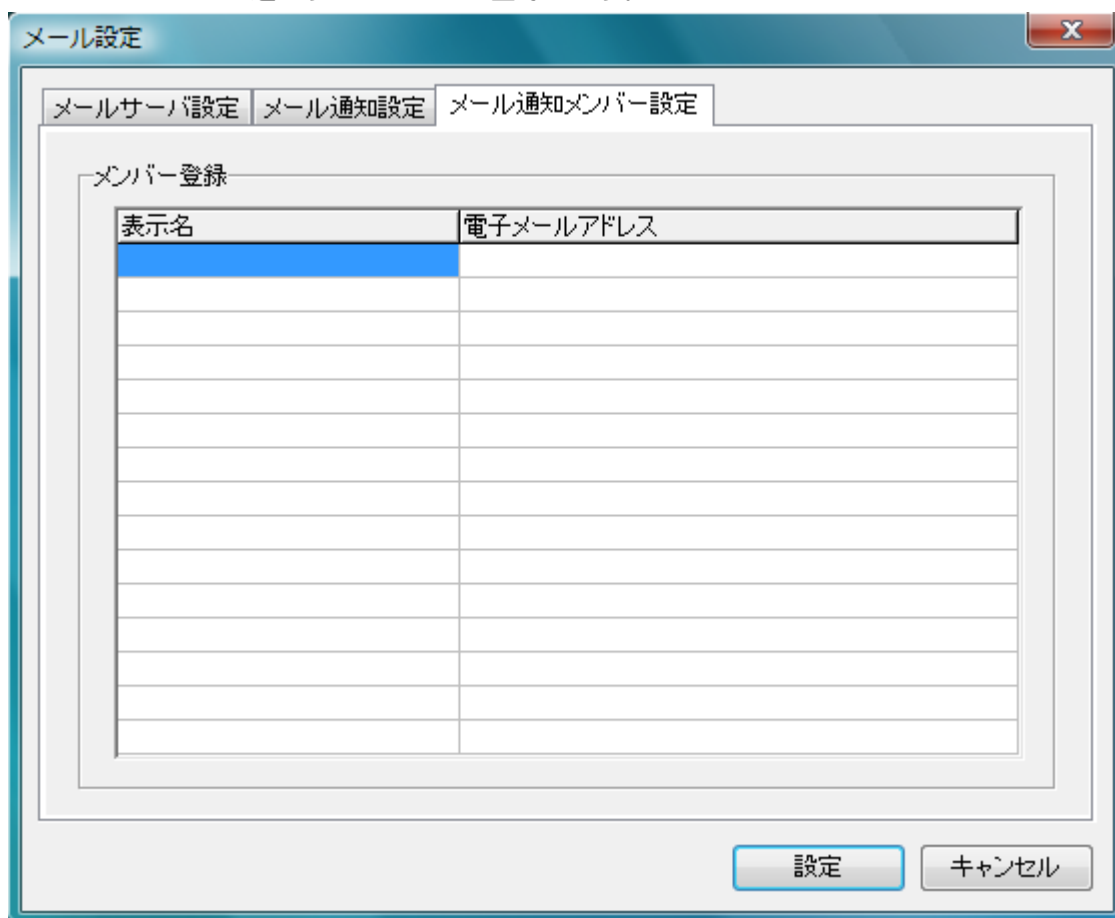



図２．１０－３　メール設定画面（メール通知メンバー設定）

①　メール通知メンバー設定の編集

（1）メンバー登録

ａ．名前

各メールアドレスを区別しやすいように、名前を入力することができます。

名前欄をダブルクリックして入力します。

ｂ．電子メールアドレス

通知先のメールアドレスを登録します。

電子メールアドレス欄をダブルクリックして入力します。

※最大 15 個のメールアドレスを登録できます。

2．１１　ログ検索

本画面ではログ抽出のための条件設定を行います。

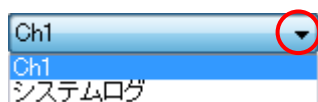
図２．１１－１　ログ検索画面

①　本画面の起動

メニューバーの「設定」→「ログ」→「検索」をクリックします。

もしくは、メイン画面のログ表示を右クリックすると「検索」メニューがポップアップするのでクリックします。

②　検索条件の指定

（1）検索 Ch 選択

をクリックし、表示されるリストより選択してください。

※システムログとは、パソコンと VAD-310/311 本体が通信異常を起こした時などのイベントログです。

（2）検索範囲の設定

「検索開始日時」、「検索終了日時」を設定してください。

（3）検索条件の設定

☑キーワード(内容)指定 にチェックをつけ、ログの「内容」欄に含まれる任意の文字を入力します。

※この条件は日付時刻との AND 条件となります。

③　検索結果の表示と保存

検索開始 ボタンをクリックしてください。「ログ検索結果」画面が表示されます。

図２．１１－２　ログ検索結果画面

「ファイル」メニュー　→　「保存」をクリックすると、ログ検索結果を保存できます。
「ファイル」メニュー　→　「画面を閉じる」をクリックすると本画面を終了します。

④　ログ検索の中止

キャンセル ボタンをクリックします。

2．１２　ログ保存設定

本画面では、ログファイルの保存可否と保存先を設定します。

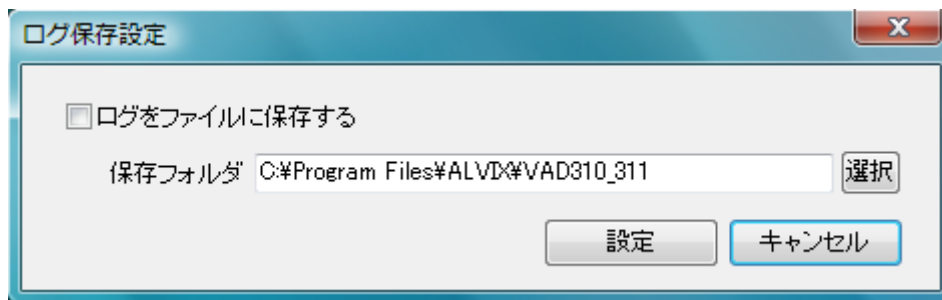



図２．１２　ログ保存設定画面

①　本画面の起動

メニューバーの「設定」→「ログ」→「ログ保存設定」をクリックします。

②　ログ保存設定

ログをファイルに保存する にチェックをつけると、各ログを CSV 形式で保存することができます。

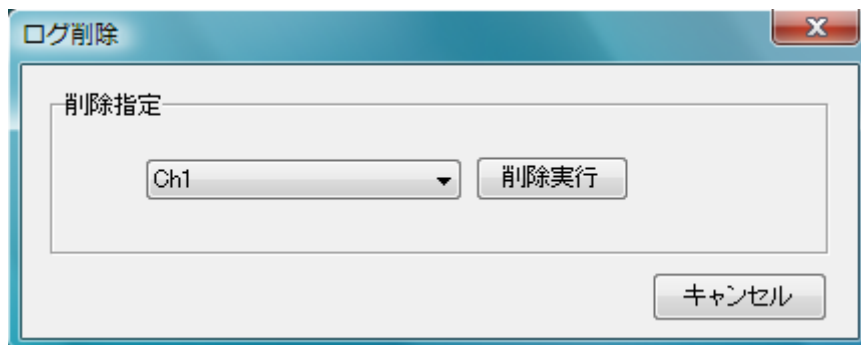
保存フォルダの選択は 選択 ボタンをクリックすると、フォルダ選択ダイアログが表示されますので、対象のフォルダを選択してください。

③　設定内容の保存とキャンセル

設定が終了しましたら 設定 ボタンをクリックしてください。

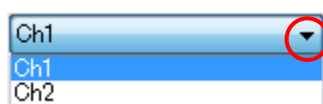
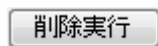
設定を中止する場合は キャンセル ボタンをクリックしてください。

2．１３　ログ削除

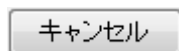
本画面では、取得したアラームログデータを削除します。

2．１３　ログ削除画面

①　本画面の起動

メニューバーの「設定」→「ログ」→「ログ削除」をクリックします。

②　チャンネルの指定

をクリックし、表示されるリストより選択してください。

削除実行 ボタンをクリックすると選択したアラームログが削除されます。

※ログの削除は、データベース上のデータが削除されるのみで、保存したＣＳＶファイルは削除しません。

①　本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

２．１４　ハードウェア時刻参照・設定

本画面では、VAD-310/311 の時刻参照と時刻設定を行います。

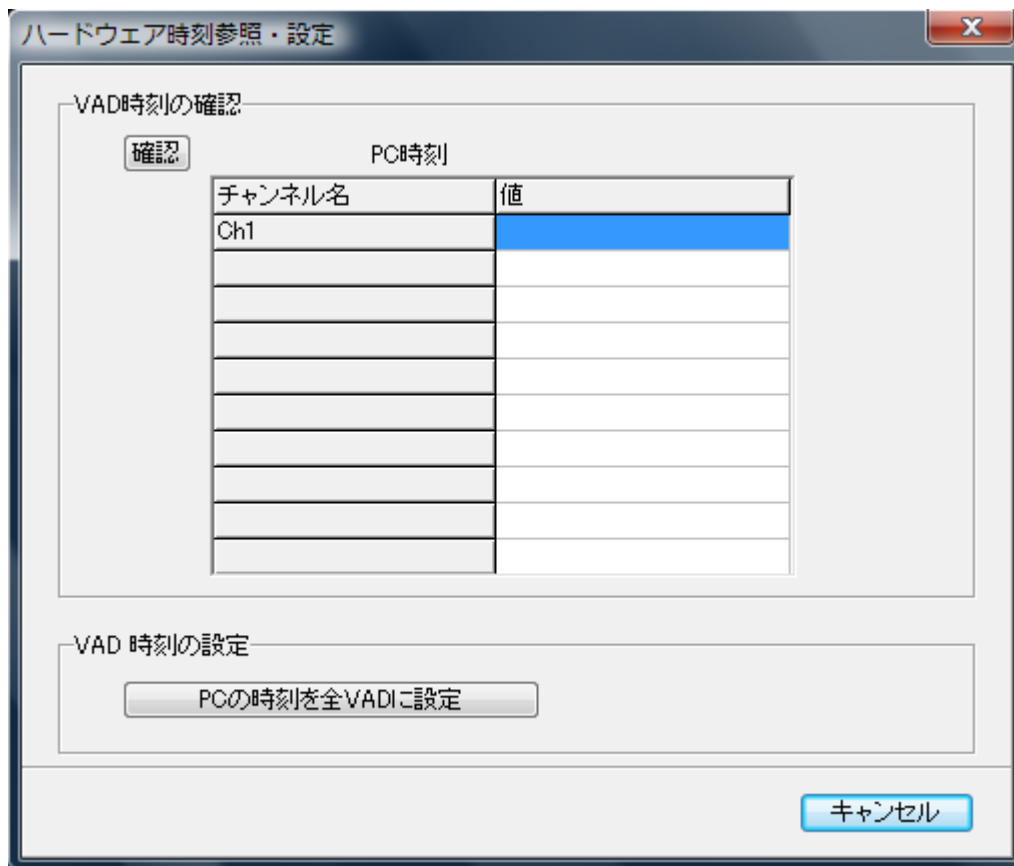



図２．１４　ハードウェア時刻参照・設定画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「時刻設定・確認」をクリックします。

② VAD 時刻の取得・表示

確認 ボタンをクリックします。

「PC 時刻」に PC の現在時刻を表示します。

各チャンネルの値欄に VAD-310/311 より取得した時刻を表示します。

③ VAD 時刻の設定

PCの時刻を全VADに設定 ボタンをクリックします。

PC の現在時刻を VAD-310/311 に設定します。

④ 本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

２．１５　測定レベル参照

本画面では、VAD-310/311 で測定している信号レベルの現在値を取得・表示します。

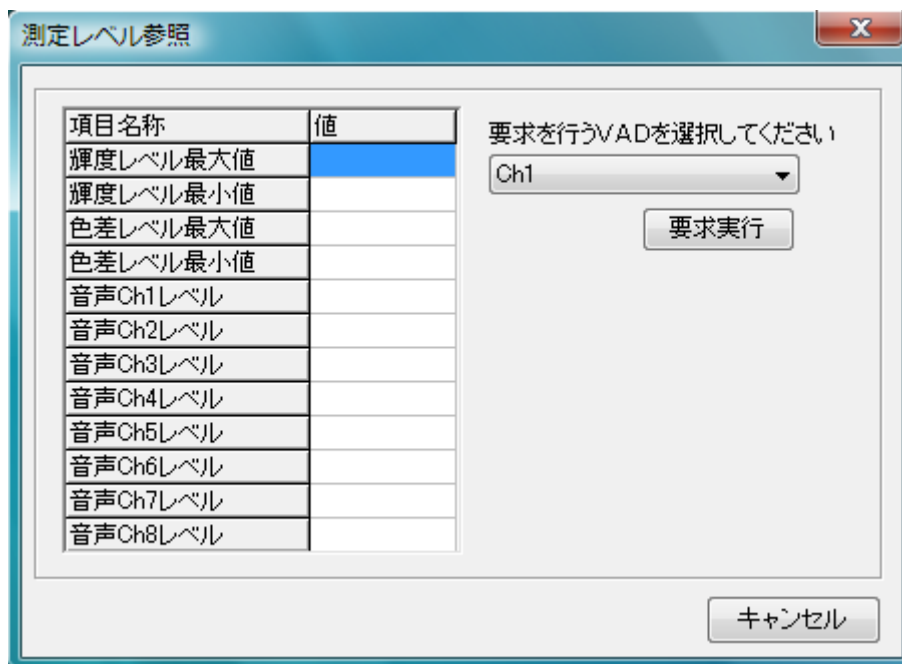
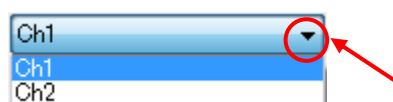



図２．１５　測定レベル参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「測定レベル参照」をクリックします。

② VAD の選択

をクリックし、表示されるリストより情報を取得・表示したいチャンネルを選択してください。

③ 測定レベルの取得・表示

要求実行 ボタンをクリックします。

要求実行を行っても表示されない場合は VAD-310/311 との通信が正常ではない可能性があります。

② 本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

2．１６　しきい値参照

本画面では、VAD-310/311 に設定されているしきい値を取得・表示します。

しきい値参照

項目名称	値
輝度レベルエラー最大値	
輝度レベルエラー最小値	
色差輝度レベルエラー最大値	
色差レベルエラー最小値	
音声Ch1レベルエラー最大値	
音声Ch1レベルエラー最小値	
音声Ch2レベルエラー最大値	
音声Ch2レベルエラー最小値	
音声Ch3レベルエラー最大値	
音声Ch3レベルエラー最小値	
音声Ch4レベルエラー最大値	
音声Ch4レベルエラー最小値	
音声Ch5レベルエラー最大値	
音声Ch5レベルエラー最小値	
音声Ch6レベルエラー最大値	
音声Ch6レベルエラー最小値	
音声Ch7レベルエラー最大値	
音声Ch7レベルエラー最小値	
音声Ch8レベルエラー最大値	
音声Ch8レベルエラー最小値	
音声Ch1エラー検知機能	
音声Ch2エラー検知機能	
音声Ch3エラー検知機能	
音声Ch4エラー検知機能	
音声Ch5エラー検知機能	
音声Ch6エラー検知機能	
音声Ch7エラー検知機能	
音声Ch8エラー検知機能	
Trapによる通知	

要求を行うVADを選択してください

Ch1

要求実行

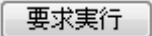
取得したしきい値をシステムに反映する

キャンセル

図２．１６　しきい値参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「しきい値参照」をクリックします。

② VAD の選択

をクリックし、表示されるリストより情報を取得・

表示したいチャンネルを選択してください。

③　しきい値の取得・表示

[要求実行] ボタンをクリックします。

要求実行を行っても表示されない場合は VAD-310/311 との通信が正常ではない可能性があります。

④　しきい値の反映

[取得したしきい値をシステムに反映する] ボタンをクリックします。

取得した VAD-310/311 のしきい値が管理ソフトに反映されます。

③　本画面の終了

[キャンセル] ボタンをクリックします。

２．１７　アラーム状態参照

本画面では、VAD-310/311 で検知中のアラーム状態を取得・表示します。

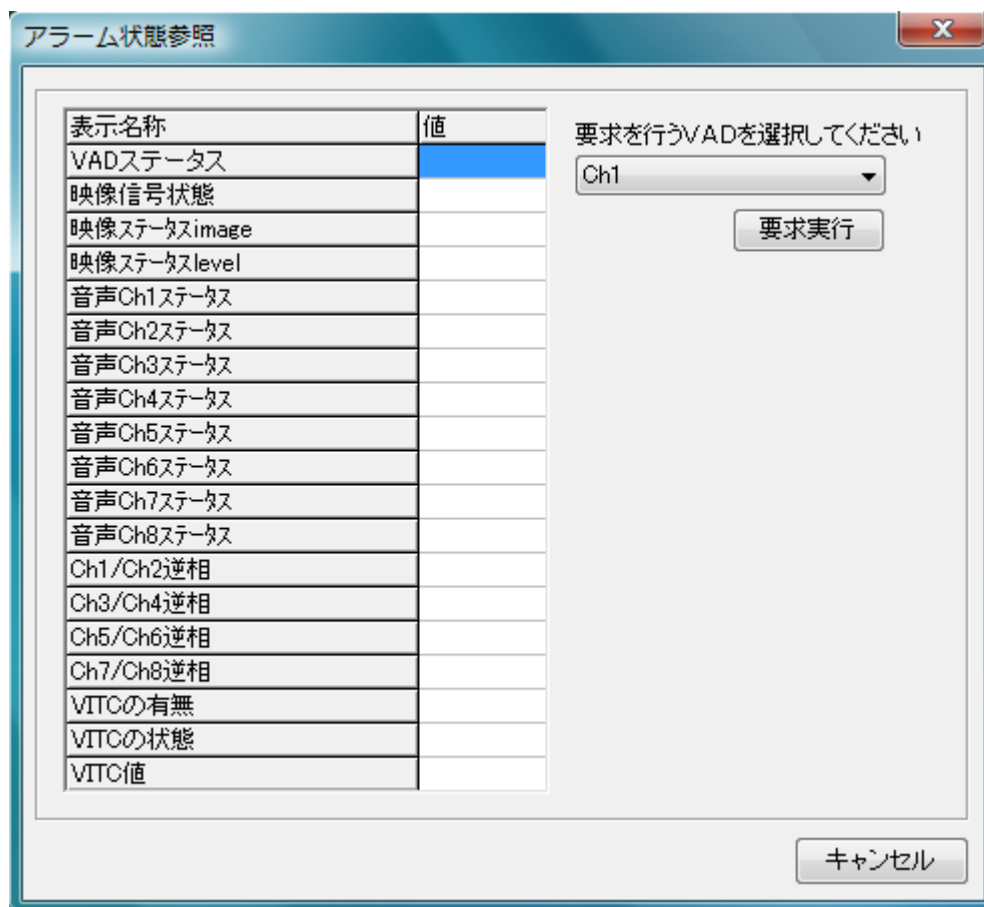
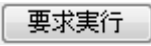
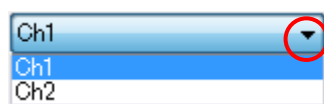



図２．１７　アラーム状態参照画面

①　本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「アラーム状態参照」をクリックします。

②　VAD の選択

をクリックし、表示されるリストより情報を取得・

表示したいチャンネルを選択してください。

③ アラーム状態の取得・表示

[要求実行] ボタンをクリックします。

要求実行を行っても表示されない場合は VAD-310/311 との通信が正常ではない可能性があります。
なお、管理ソフトではマスク処理が行われているため、この画面で表示されたアラーム状態と管理ソフト上で表示されているアラーム状態が合致しないことがあります。

④ 本画面の終了

[キャンセル]ボタンをクリックします。

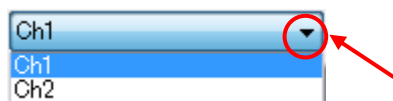
2．18　マスク値参照

本画面では、VAD-310/311 に設定されているマスク値を取得・表示します。

図2．18　マスク値参照画面

①　本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「マスク値参照」をクリックします。

② VAD の選択

をクリックし、表示されるリストより情報を取得・

表示したいチャンネルを選択してください。

③ マスク値の取得・表示

要求実行 ボタンをクリックします。

要求実行を行っても表示されない場合は VAD-310/311 との通信が正常ではない可能性があります。

④ マスク値の反映

取得したマスク値をシステムに反映する ボタンをクリックします。

取得した VAD-310/311 のマスク値が管理ソフトに反映されます。

④ 本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

２．１９　ＶＡＤバージョン参照

本画面では、VAD-310/311 のバージョンを表示します。

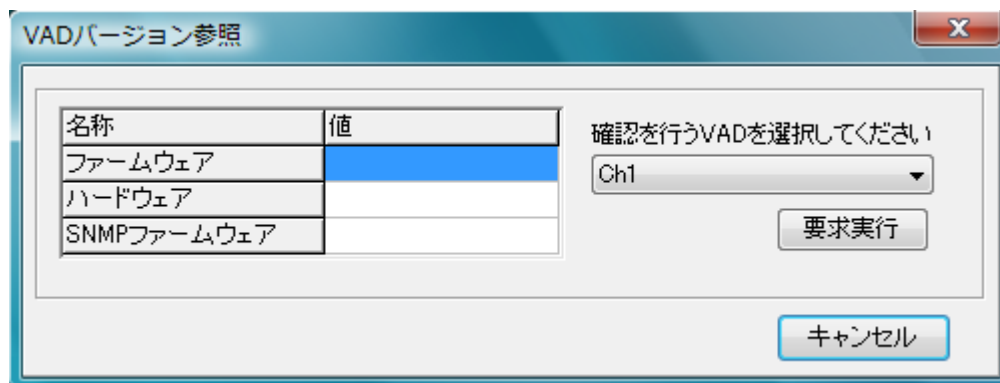
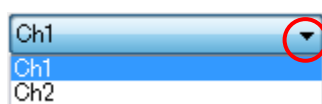



図２．１９　VAD バージョン参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「VAD バージョン参照」をクリックします。

② VAD の選択

をクリックし、表示されるリストより情報を取得・表示したいチャンネルを選択してください。

③ VAD バージョン情報の取得・表示

要求実行 ボタンをクリックします。

要求実行を行っても表示されない場合は VAD-310/311 との通信が正常ではない可能性があります。

④ 本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

２．２０　システムログ参照

本画面では、システムログを表示します。

※システムログとは、パソコンと VAD-310/311 本体が通信異常を起こした時などの
　イベントログです。

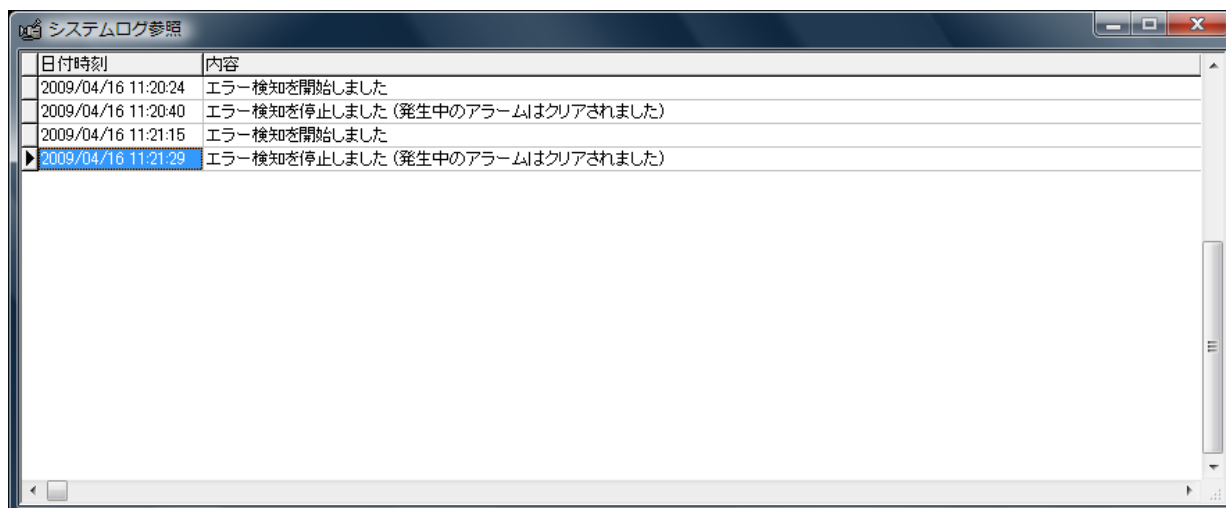



図２．２０　システムログ参照画面

① 本画面の起動

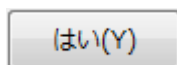
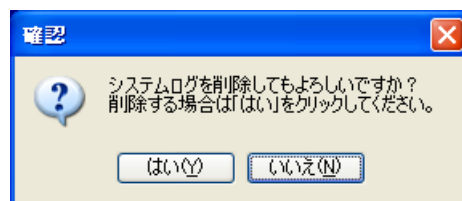
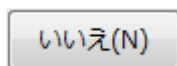
メニューバーの「システムログ」→「システムログ参照」をクリックします。

② 本画面の終了

をクリックします。

２．２１　システムログクリア

本機能では、取得したシステムログデータを削除します。
本機能に画面は存在しません。

①　システムログの削除
メニューバーの「システムログ」→「システムログクリア」をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

はい(Y)　をクリックするとシステムログを削除します。

いいえ(N)　をクリックすると削除処理を中止します。

※ログの削除はデータベース上のデータが削除されるのみで、保存した CSV ファイルは削除しません。

２．２２　バージョン情報

本画面では、管理ソフトのバージョン情報を表示します。

図２．２２　バージョン情報画面

①　本画面の起動

メニューバーの「ヘルプ」→「バージョン」をクリックします。

②　本画面の終了

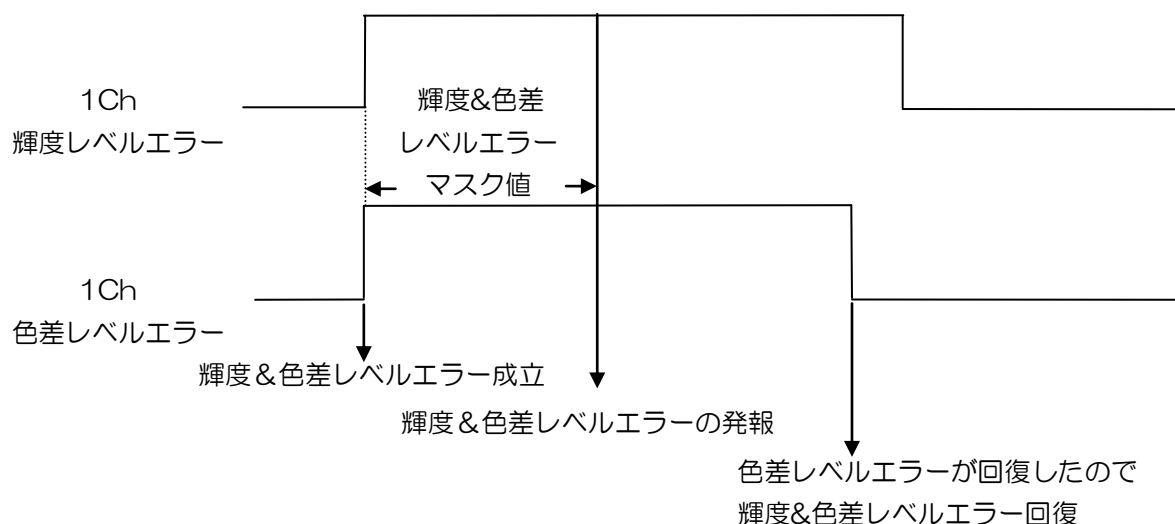
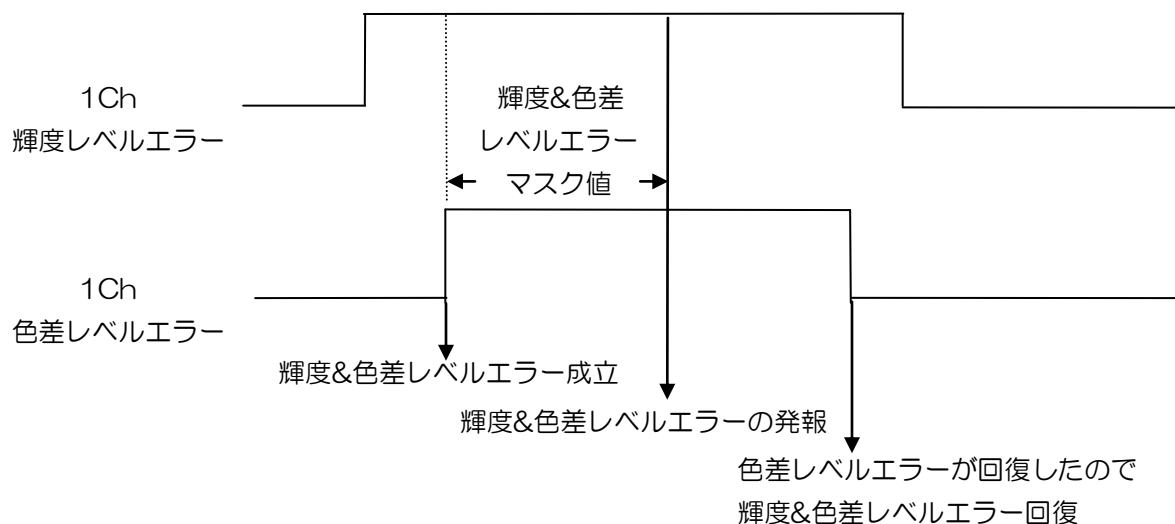
本画面をクリックします。

３．機能補足説明

３．１　輝度&色差レベルエラー検知機能

輝度&色差レベルエラーは、各チャンネルにおいて輝度レベルエラーと色差レベルエラーが同時発生し、マスク値を超えた時にエラーを発報します。
この成立条件から外れた時を、輝度&色差レベルエラーの回復とします。
本エラーは、輝度&色差レベルエラーのマスク値設定が有効となっている必要があります。
（マスク値設定で設定値が０以外となっている場合が有効）

本エラーとは無関係に、輝度レベルエラー、色差レベルエラーもそれぞれのマスク時間を経過すると発報されます。

［動作例１：アラーム同時発生］

［動作例２：アラーム別発生］
個別にエラーが発生した場合、輝度&色差レベルエラー成立条件を満たした時に発生となります。

４．特記事項

４．１　インストールフォルダにあるファイルについて

インストールフォルダにあるファイルは管理ソフトで使用している重要なファイルです。
手動で編集、変更する事はお控えください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

ア ル ビ ク ス 株 式 会 社
〒959－0214
新潟県燕市吉田町法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８